

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	青少年健全育成推進事業				担当部	こども未来部				
	会計区分	一般会計		事業類型	一般	担当課	こども政策課				
	事業期間	平成12年度以前		～	平成30年度以降		担当係	青少年育成係			
	総合計画 分野別計画	主目的	3 教育・子育て		13 子育て支援		4 健全な青少年を地域で育てます				
		副目的	12-3								
	予算区分	款	10	項	5	目	4	大	4	中	1
	根拠法令・個別計画	第3次小牧市生涯学習推進計画									
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	学校地域コーディネーターの活動を通じて、地域が学校を支援する機会と、中学生が地域活動に参加する機会を推進する。また、青少年健全育成市民会議への補助を通じて、市民会議全体の活動のほか、各中学校区健全育成会の活動を推進し、青少年の健全育成を図る。									
	内容 (手段)	<p>◆25年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の健全育成を啓蒙するため、市民でつくる青少年健全育成市民会議へ補助を行った。(補助金3,520千円)</li> <li>・あいさつ運動の推進、地域ふれあい活動の推進、いじめ・非行防止啓発活動、明るい家庭づくりの推進、安全安心の地域環境づくり、ネット犯罪やトラブルから青少年を守る運動の推進、青少年非行防止キャンペーン・青少年によい本をすすめる運動・家庭の日推進運動)少年センターが市民会議の事務局となっている。</li> <li>・学校地域コーディネーターを、各中学校へ1人～2人配置した。(報償費3,240千円)</li> <li>・コーディネーターは学校と地域のパイプ役として学校と相談しながら活動し、ボランティアの取りまとめや子どもたちの地域活動の推進を図った。</li> <li>・学校、PTA、学校地域コーディネーターが共同し、スマートフォン、ケータイトラブルに対応するための保護者向け講習会(市内一斉ネット講習会)を開催した。</li> <li>・インターネットの情報提供サイト「学びノート」で子どもたち等が参加できる情報を提供し、学校外での活動の啓発を図った。</li> </ul> <p>◆25年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域コーディネーター謝礼等(2,054千円)</li> <li>青少年健全育成市民会議補助金(3,520千円)</li> <li>学びノート借上料(1,638千円)</li> <li>その他、旅費、保険料等(640千円)</li> </ul> <p>◆26年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域コーディネーター謝礼等(3,280千円)</li> <li>青少年健全育成市民会議補助金(3,520千円)</li> <li>まちかどあいさつ運動事業委託料(159千円)</li> <li>その他、旅費、保険料等(904千円)</li> </ul>									
	受益者負担	無									

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	10,568	7,591	7,852	7,863	
		正職員	従事者数	人	0.50	0.50	0.50	0.50
			人件費	千円	2,630	2,630	2,630	2,630
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	13,198	10,221	10,482	10,493		
対前年比	%			77.4	102.5	100.1		
財源	一般財源	千円	12,198	9,621	10,108	10,493		
	国・県支出金	千円	1,000	600	374	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	中学校地域コーディネーター人数	人	目標	9	9	9
実績				12	12	13	
	学びノート情報登録団体数	団体	目標	10	10	10	—
			実績	5	5	6	
			目標				
			実績				
業	成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	中学校地域コーディネーター活動回数	回	目標	702	702	702	702
実績			702	672	684		
	学びノートアクセス数	件	目標	120,000	120,000	100,000	—
			実績	101,577	92,567	73,922	

事業の自己評価	平成25年度の実施結果	事業の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校地域コーディネーター事業については、コーディネーターが支援する学校と地域をつなぐ活動が定着する一方で、市内一斉ネット講習会をPTAと共同開催するなど、新たな活動も展開した。しかし、目標にはいたらなかった。</li> <li>・学びノートは、全てにおいて前年比を下回り目標達成できていない。</li> </ul>				
		事業実施における課題	学校地域コーディネーターの後継者育成及び人材の発掘。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	青少年の健全育成、学校と地域の連携支援、中学校生徒の地域での活動、学校外での学びの支援を行うことが出来ない。				
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民提案事業である「まちかどあいさつ運動啓発事業」を実施。</li> <li>・市内一斉ネット講習会の内容を一部リニューアルして実施。</li> </ul>				
平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)				
	判定理由	学校地域コーディネーターの派遣事業、青少年健全育成市民会議への支援は、学校、家庭、地域の連携を目的として「子どもが健やかに成長できる環境づくり」を行うものであり、引き続き実施する。					
	27年度以降の改善案	新基本計画のアクションプランのひとつである「こどもを中心に全ての世代がつながっているまち」の理念を具現化している事業であり、各種啓発活動の際には、地域ブランドも取り込んだ啓発活動を実施する。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。